

# 2014年度自己点検・評価報告書(シート)

## 【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

### 《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

### I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

|      |  |
|------|--|
| 対象部局 | 法学研究科  |
| 大項目  | 7 国際交流 (研究科)   |
| 中項目  |  |
| 小項目  | 7.0.1 国際交流(国内外における教育研究交流)についての方針を明示しているか。                              |
| 要素   | (KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性                                      |
| 小項目  | 7.0.2 国際交流(国内外における教育研究交流)を適切に行っているか。                                   |
| 要素   | (KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性<br>(KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況(院) |

### II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

#### 《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。  
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。  
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。  
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

| 2009年度に設定した「目標」   | 左記目標の「指標」  | 進捗状況(達成度)評価 |      |      |      |      |
|---|--|-------------|------|------|------|------|
|   |  | 2009        | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
| 1. 外国人客員研究員等の受け入れ、教員の海外派遣の支援、協定校への院生の派遣を推進する学部国際交流委員会を設置する。 | →「法学部国際交流支援委員会(仮称)の検討内容と結論、メンバー数(参加者数)、答申案など」活動報告、「人的国際学術研究交流データ(海外客員教員招へい数・吉林大学等への出張者数・留学生数・国際学会等出席者数等(教員・院生別)」、「大学院研究科の学生定員数および在籍者数」、「留学等の海外研究・学会出席回数」 | C           | C    | B    | B    | B    |
|   |  |             |      |      |      | ☆    |
| 2010年度以降に設定した「目標」   | 左記目標の「指標」  | 2009        | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
|   | →  |             |      |      |      |      |
|   | →  |             |      |      |      |      |

#### 《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

|     |   |   |   |
|-----|---|---|---|
| 目標1 | B | Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか<br>外国人客員研究員等の受け入れ、教員の海外派遣の支援、協定校への院生派遣といった法学研究科での国際交流を支援することなどを任務とする国際化推進委員会を2011年度に設立した。 | ☆ |
|     |   | Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か<br>国際化推進委員会において、国際交流に関する諸問題についての審議・検討が、現在、継続して進められているところである。  | ☆ |
|     |   | Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か<br>国際化推進委員会における法学研究科での国際交流の支援のあり方についての検討結果を踏まえ、今後、取り組みを進めることが予定されている。   | ☆ |
|     |   | その他   | ☆ |
| 備考  |   | 国際化推進委員会は、学部および研究科での国際交流に関係する諸事項を取り扱う。  | ☆ |

## 《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

| 【法学研究科】               |                    |              | 単位 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 備考                  |  |
|-----------------------|--------------------|--------------|----|------|------|------|------|------|------|---------------------|--|
| 指標1                   | 国際交流協定締結機関数        |              | 機関 | —    | —    | —    | —    | —    | —    |                     |  |
| 指標2                   | 国際交流協定締結国数         |              | 国  | —    | —    | —    | —    | —    | —    |                     |  |
| 指標3                   | 海外からの受け入れ学生数       | 国数           | 国  | —    | —    | —    | —    | —    | —    | 累計数                 |  |
|                       |                    | 外国人留学生       | 正規 | 人    | 2    | 3    | 5    | 4    | 2    | 1                   | ・※5/1現在(学校基本調査)<br>・正規とは学位取得目的<br>・特別学生を含む |
|                       |                    |              | 交換 | 人    | 1    | 1    | 1    | —    | —    | —                   | ・累計数<br>・交換は正規以外とする。<br>・大学院短期留学を含む        |
|                       |                    | 外国人留学生在籍学生比率 | 正規 | %    | 5.0  | 7.1  | 9.3  | 7.3  | 4.1  | 2.0                 | 外国人留学生÷在籍学生数                               |
|                       |                    |              | 交換 | %    | 2.5  | 2.4  | 1.9  | 0.0  | 0.0  | —                   |  |
| その他<br>(セミナー等による受け入れ) | 人                  | —            | —  | —    | —    | —    | —    | —    |      |                     |  |
| 指標4                   | 海外への派遣学生数          | 国数           | 国  | —    | —    | —    | —    | —    | —    | 累計数                 |  |
|                       |                    | 人数           | 長期 | 人    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0                   | ・累計数<br>・1学期以上を「長期」                        |
|                       |                    |              | 短期 | 人    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0                   | ・累計数<br>・1学期未満を「短期」                        |
|                       |                    | 在籍学生比率       | 長期 | %    | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0                 | 海外へ派遣した学生数÷在籍学生数                           |
|                       |                    |              | 短期 | %    | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0                 |  |
| 指標5                   | 海外からの受け入れ教員数       | 長期           | 人  | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | ・累計数<br>・1年間以上を「長期」 |  |
|                       |                    | 短期           | 人  | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | ・累計数<br>・1年間未満を「短期」 |  |
| 指標6                   | 海外への派遣教員数          | 長期           | 人  | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | ・累計数<br>・1年間以上を「長期」 |  |
|                       |                    | 短期           | 人  | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | ・累計数<br>・1年間未満を「短期」 |  |
| 指標7                   | 国連ボランティア(UNV)の参加者数 |              | 人  | —    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | ・累計数<br>・春・秋の合計     |  |

※指標3「海外からの学生の受け入れ」の「外国人留学生」(正規)は2009年度までは1年間の累計数。2010年度以降は当該年度5月1日現在の数字。(学校基本調査に合わせた。)